

女神さま・オープン(3ヵ月決算型)の運用状況

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)

追加型投信／海外／株式

2018年8月30日

当レポートでは、米国株式市場の足元の動向と、銀行株の見通し及び今後の当ファンドの運用方針についてお伝えいたします。

底堅い展開

8月の米国株式市場は、中旬に米国によるトルコへの制裁に対する懸念から一時的に弱含んだものの、好調な企業業績が買い材料となり、底堅く推移しました(8月24日現在)。業種別では、市場予想を上回る業績見通しを発表する企業が多かった電気通信サービスやヘルスケアが上昇した一方、原油価格の下落によりエネルギーが冴えない動きとなりました。

リーマン・ショックから10年が経過した銀行株

金融危機による世界同時不況の象徴的な出来事だった米国大手投資銀行リーマン・ブラザーズのチャプター11(連邦破産法第11章)申請から、2018年9月15日で10年が経過します。現在の主要銀行は、当時のショックにも耐えられる経営体力をつけていると考えられます。

図表2は、米国主要銀行の総貸出に対する不良債権比率の平均値の推移です。現在の水準は、リーマン・ショック当時より低く、引き続き低下傾向です。

図表3は、米国主要銀行の財務指標の平均値です。財務の健全性を表すティア1資本比率や、収益力を示すROE(株主資本利益率)は、大きく改善しています。

また、預貸率が100%を下回っている点も大きな変化です。2008年当時に比べ、短期金利上昇による資金調達コスト増加の影響を受け難くなっています。

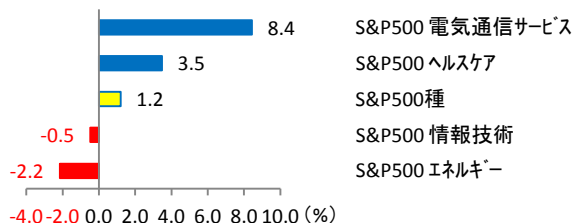
ストレステスト合格による増配への期待

銀行の財務健全性や収益力の改善は、6月に発表された米連邦準備制度理事会(FRB)によるストレステスト(健全性審査)の結果からも確認できます。

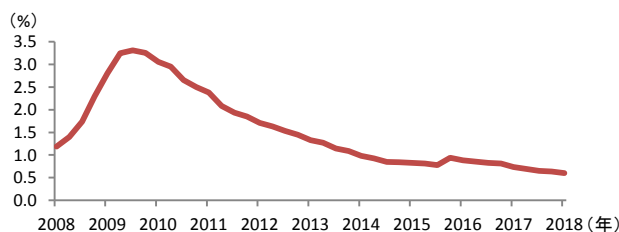
対象となった35行全てが合格となり、資本計画の是非を判定する「包括的資本分析審査」の結果も欧州系銀行の米子会社を除く34行が合格となりました。

資本計画が承認された銀行の多くは、株主還元を積極化させる見通しです。今後、銀行株の増配への期待感は高まっていくと考えます(図表4)。

図表1 S&P500種指数の業種別リターン上位下位2業種
(2018年7月25日～2018年8月24日、米ドルベース、トータルリターン)



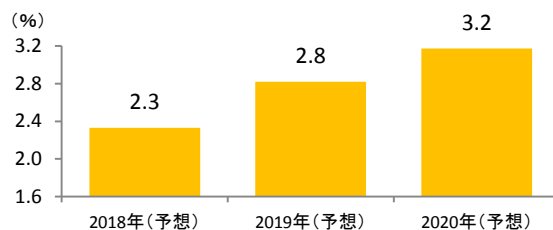
図表2 米国主要銀行の不良債権比率(平均値)の推移
(2008年第2Q～2018年第2Q、米ドルベース)



図表3 米国主要銀行の財務指標(平均値)の推移
(2008年第2Q 対 2018年第2Q、米ドルベース)

(単位: %)		
	2008年Q2	2018年Q2
ティア1資本比率	8.6	12.1
ROE(株主資本利益率)	3.7	13.0
預貸率(貸付/預金)	108.3	83.8

図表4 米国主要銀行の予想配当利回り(平均値)
(2018年～2020年、米ドルベース)



(注) 図表2, 3, 4はS&P500銀行株指数採用銘柄の平均値を使用
(出所) 図表1, 2, 3, 4は Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

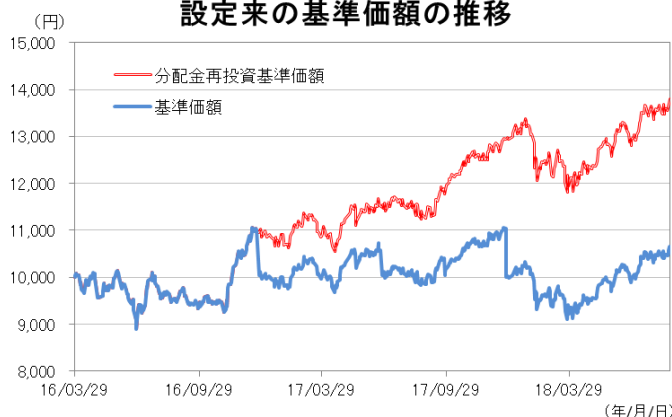
<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

運用状況 (作成基準日 2018年8月24日)

設定来の基準価額の推移



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ

基準価額(円)	10,655
残存元本(口)	2,110,241,022
純資産(円)	2,248,527,644
実質株式組入比率(%)	94.8
短期金融商品・その他(%)	5.2
組入銘柄数	64

■ 直近5期の分配金の推移

決算期	分配金(円)
第9期(2018年6月26日)	0
第8期(2018年3月26日)	0
第7期(2017年12月26日)	1,050
第6期(2017年9月26日)	250
第5期(2017年6月26日)	550

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
※各決算期における分配金は1万口当たり(税引前)です。

組入上位10セクター

	セクター名	比率
1	資本財	13.5%
2	小売	11.7%
3	ヘルスケア機器・サービス	11.2%
4	ソフトウェア・サービス	10.9%
5	各種金融	7.0%
6	食品・飲料・タバコ	6.1%
7	公益事業	5.6%
8	銀行	5.3%
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.9%
10	保険	3.6%

組入上位10銘柄

	銘柄名	セクター	比率
1	アップル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.2%
2	アルファベット	ソフトウェア・サービス	3.1%
3	ハリス	資本財	3.0%
4	アマゾン・ドット・コム	小売	2.8%
5	アボットラボラトリーズ	ヘルスケア機器・サービス	2.8%
6	MSCI	各種金融	2.8%
7	TJX	小売	2.8%
8	ビザ	ソフトウェア・サービス	2.7%
9	フォーティブ	資本財	2.7%
10	インテューティブサージカル	ヘルスケア機器・サービス	2.5%

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

足元の運用経過と運用方針について

足元の運用につきましては、市場予想を上回る業績を発表した小売株及び資本財株を新規に買い付けた一方、ソフトウェア株については高位を維持しつつも、一部銘柄の売却を行いました。

今後の米国株式市場は、通商問題の動向や9月25～26日に開催される米連邦公開市場委員会(FOMC)での利上げを睨み、もみ合いの展開を予想します。一方、通商問題に何らかの進展が見られた場合は、これまで売られていた輸出関連株に買いが入り、指数は強含みで推移すると考えます。

当面の運用につきましては、好調な米国経済の恩恵を受ける資本財株や小売株、独自の成長ストーリーを有するヘルスケア機器株を高位にウェイト付けします。一方、原材料価格上昇の懸念があるテクノロジー・ハードウェア株や耐久消費財株については、一部売却を検討します。

以上
(作成:運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
 - ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
 - 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）： $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.566\%$ （税抜1.45%）
 - その他費用・手数料
監査費用： $\text{純資産総額} \times \text{年率} 0.01296\%$ （税抜0.012%）
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)